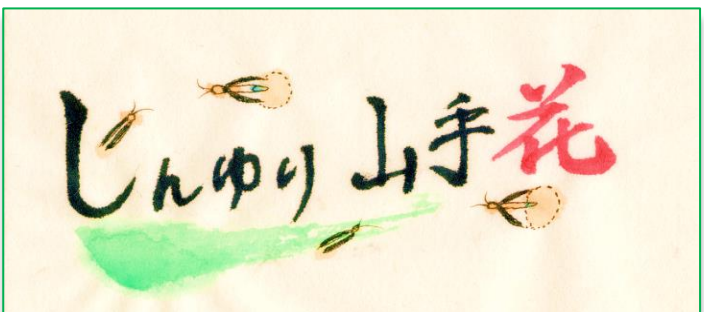




《12》 ヒヨドリジヨウゴ(鶉上戸)

ナス科

山や野に生えるツルになる草で、全体に軟毛が生えています。

花は白か、ときに淡い紫で、直径一・五cmぐらい。花びら(花冠の裂片)は後ろに反り返って、しゃれた形になります。

黄色い筒は花粉の入っている葯で、その真ん中から「雌しべ」が付きだしている。実は熟すと真っ赤になり、ヒヨドリが好んで食べるので鶉上戸の名がついたといわれていますが、実際はそれほど好んで食べられていた様子はありません。

新百合山手の中心に位置するアートセンター裏のふるさと緑地の山道を登ると左側で、ひっそりと咲いています。鶉の声も、けたたましいほど聞こえます。

十月の末ごろから実が熟し赤く染まってくるので見つけやすくなりますのでぜひ鑑賞してください。

